



河津桜 (神奈川県 松田町)

東朋会ミニ通信

発行者 香川 修司
連絡先 事務局 加藤 光義
0467-73-0515
編集者 小倉進・島津晃

第五〇回 東朋会理事会が開催されました(※1)

2013年3月14日(木)
13時30分～16時30分

出席者：香川修司理事長・村岡憲弘副理事長・荒井恒宏副理事長・加藤光義専務理事・本田耕三会計理事・石田稔理事・手塚静江理事・佐藤治郎理事・神保ひさよ理事・邊見貞治理事・久玉輝美理事・小倉進理事・今井護理事(※2)・佐藤進監事
場所：湘南クラブハウス

- (1)出席者の確認
- (2)理事長挨拶
- (3)前回理事会 第49回(1/10)会議記録の確認

報告事項

- (1)会員拡大活動の具体化とTDS有志OBとの話し合い
- (2)東朋会 2013年のカレンダー
- (3)地域OB会の行事計画
- *京浜OB会「お花見」
- 4月5日(金) 緑ヶ丘霊園
- *寒川OB会「お花見」

- 4月6日(土) 水の広場
- *福東OB会「総会」
- 5月26日(日)
- 保原中央公民館
- (4)会員数 453名
- (3/14 現在)

*新会員(最下段の会員情報をご確認下さい)

*会費納入状況

(5)その他
エフソン湘南事業所の状況

労金ATM(3/31)・食堂(3/25)・ガス(4/1)がそれぞれ停止

議題

(1)ミニ通信 3月号の発行計画と広報活動(ブログ&ホームページ)

(2)資金運用状況

*日本生命社債の売却とソフトバンク社債の購入

(3)会計報告(2月度)

(4)福東OB会の追加予算の設定と新年度予算

*拠点事務所の開設と今後の支援金

*東北労金への出資

(5)選挙管理委員会の発足の件 3/17(日) 打合せ

(6)エンディングノート編集と発行確認

(7)クラブハウス建設委員会の状況

- (8)2013年度総会・懇親会の基本計画
- (9)第7回芸能大会の今後の方針
- (10)相模事業所の都市ガス撤去に伴うクラブハウスのガス設備(プロパンガス)の設置とエアコン・ガス器具の購入

(11)その他 東朋会日程計画表の確認

トータルライフ(福祉)事業

(1)慶弔見舞い制度2013年3・4月度対象者

*「卒寿・傘寿」(下段の会員情報をご確認下さい)

(2)労金・労済活動状況

* 労金預金者 新規数名

* 全労済の自然災害共済・他 新規数名

(3)その他
次回理事会は5月16日(木)13:00～16:00

※印の説明

(※1)ふた月に一回、第二木曜日定期的に開かれています。

(※2)理事長・副理事長・専務、及び会計は選挙管理委員会の答申に基づき、理事会の決議によって理事の中から選定する。

* 一般財団法人東朋会規約(案)第29条2.項より

お知らせ

※エンディングノートを同封いたしました。

人生の終盤に起こりうる万一の事態に備えて、治療や介護、葬儀などについての自分の希望や家族への伝言、連絡すべき事柄のリストなどを記しておくノートです。活用をお勧めします。

会員情報

3月14日現在453名

新会員

志戸岡 照司 氏

長寿のお祝い

卒寿 蔵方 恒四郎 氏 (4/4)

傘寿 小原 滋 氏 (4/7)

傘寿 齋藤 富男 氏 (4/20)

お知らせ

広報担当理事

東朋会ホームページ開設のご案内

会員の皆様への情報をいち早くお知らせするホームページを以下のアドレス(URL)で発信しています。投稿も大歓迎!

<http://www.toyo-tohokai.com>

医療介護の話 No.23
荒井副理事長

飛散物質から家族を守る

これからの季節、花粉の飛来はもちろん、偏西風によって、大陸から黄砂や大気汚染物質PM2.5(微小粒子状物質)等の有害物質が日本に飛来することが懸念されます。

特にPM2.5については非常に粒子が細かく、体内に入り込んでしまった場合に体内の奥深くまで到達してしま

う可能性があるため、深刻な被害をもたらす危険性が高い物質です。PM2.5は、5月頃まで飛来数が増えるという予測されています。毛髪の1/30程度という大変小さな粒子のため、吸い込むと肺の奥まで入り、喘息・肺がんの他、循環器系への影響など、人体に大きな影響を与えることが懸念されています。

花粉

温暖化の影響で今シーズン

のスギ花粉の飛散量は全国的に多くなると予想されています。また厚生労働省によると、これまで一般的に言われてきた眼や鼻などの症状に加え、口の渇き・喉の違和感・皮膚のかゆみなど、別の症状を訴える人が多いことが分かってきています。

黄砂

中国の医療専門家が、砂塵が人体の呼吸器系統に危害を与えると警告している黄砂ですが、日本での黄砂

卒業式の桜

理事長 香川 修司

祭りが3月にずれ込むほど、厳しかった今梅の年の冬から一転、初夏のような暖かい日が続き、桜の満開が近年になく早まりました。入学式ではなく、卒業式の桜になりました。湘南の春が、今年、梅や桃と桜が続いて咲く、東北三春地方の春に似ているのでしょうか。

その東北も3.11の大震災後2度目の春を迎えています。復興には長い年月がかかりそうですが、人々の笑顔やたくましさを見ると、私たちが励まされます。

2年後の今、冷静になって、関東・関西の震災に備え、防災・減災の分析が進んでいます。私の地域も先日、津波避難訓練がありましたが、近所に声掛けをしても高齢者は参加を渋り、若い夫婦が、避難しました。でも、後で「声をかけてもらってありがとう」と礼を言いに来られました。若い世帯の「てんでんこ」でいいのでは、という若い世帯の声もあり、難しいところです。

卒業50年を記念して、同窓会があり、故郷は遠く、最後になるかもと、参加してきました。年賀状に「会いたいね」と書くばかりの旧友たちに50年振りに会いました。みんな姿は老けていましたが、話題は意外にも昔話はそこそこに、一線を卒業した今、どのような生活をしているかが中心でした。この長寿時代を、充実して生きていこうという思いが伝わり、桜に囲まれた、お城の中の校庭を思い出しながら、校歌、応援歌を歌いました。

変動の激しい季節の中で、健康に気をつけ、仲間と交流を図り、生きて行きたいものです。

現象は3〜4月が最多と言われています。咳・くしゃみ・眼のかゆみなど、花粉症の症状だけでなく時期も重なります。長引く場合は黄砂の影響を疑ってみることも必要です。

PM2.5、花粉、黄砂対策として、目ごろからの手洗い・うがい・マスクの着用を心掛け、身体に入れない・吸い込まない・家の中に持ち込まない。一度進入した花粉・黄砂は日頃から掃除を心がけ、空気清浄機で綺麗に保つことです。

年金の話 No.37

今井理事

年金受給の流れ

私達は、通常、国民年金(老齢基礎年金)、厚生年金(老齢厚生年金)、企業年金(確定給付企業年金)を国民年金(老齢基礎年金)と厚生年金(老齢厚生年金)は、厚生労働省の代行機関の日本年金機構より受給し、企業年金(確定給付企業年金)は、企業年金基金(当会)の場合は、多くの人がセイコーエプソン企業年金基金(代

行みずほ信託銀行)より受給しています。

国民年金と厚生年金は、国より給付されるので、給付金額が減る事はあるかも知れませんがゼロに成る事は、想定外です。企業年金は、何らかの原因で基金を維持できなくなったり、また受給する人が、基金を脱退したりした場合給付はどうなるだろうかと思えるかも知れません。だが、ゼロにはなりません。

確定給付企業年金法という法律で受給権保護が図られています。その受け皿として企業年金基金連合会(以前は、厚生年金基金連合会)が組織されており残余財産分配金移換と云う手続をすれば企業年金基金連合会から通算企業年金として給付されます。

また、公的年金制度では年金受給者または、被保険者(加入者)が老齢になった場合の他、病气やけがで障害を有するようになった場合は障害年金、死亡した場合は遺族年金の手続きをすることにより受給する事が出来ます。